

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第3区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-109265(P2017-109265A)
【公開日】平成29年6月22日(2017.6.22)
【年通号数】公開・登録公報2017-023
【出願番号】特願2015-244891(P2015-244891)
【国際特許分類】

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 9/14 E

G 0 2 C 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レンズを切断する切断加工具と、

前記切断加工具と前記レンズの相対的な位置を移動させる移動機構と、

装置の制御を司る制御部と、

を備え、

前記レンズに形成する加工形状の輪郭に沿って前記切断加工具を相対的に移動させることで、前記レンズを切り離すことが可能な眼鏡レンズ加工装置であって、

前記制御部は、

前記レンズを切り離す前記輪郭上の切り離し点の位置を、前記加工形状に関する情報に基づいて、前記レンズの中心を通り上下方向に延びる仮想線を境界とする左側領域内および右側領域内のいずれかに設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項2】

請求項1の眼鏡レンズ加工装置であって、

前記制御部は、

形成される前記加工形状の左右方向のうち、装用者の耳側の方向および鼻側の方向を示す情報を、前記加工形状に関する情報として取得すると共に、

前記左側領域および前記右側領域のうち、装用者の耳側となる領域内に、前記輪郭上の前記切り離し点の位置を設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項3】

請求項1の眼鏡レンズ加工装置であって、

前記制御部は、

形成される前記加工形状の左右方向のうち、装用者の耳側の方向および鼻側の方向を示す情報を、前記加工形状に関する情報として取得すると共に、

加工する前記レンズがマイナスレンズである場合には、前記左側領域および前記右側領域のうち、装用者の耳側となる領域内に、前記輪郭上の前記切り離し点の位置を設定し、

加工する前記レンズがプラスレンズである場合には、前記左側領域および前記右側領域のうち、装用者の鼻側となる領域内に、前記輪郭上の前記切り離し点の位置を設定するこ

とを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 4】

請求項 1 の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、

前記レンズに形成する前記加工形状の前記輪郭の幾何中心の位置を示す情報を、前記加工形状に関する情報として取得すると共に、

少なくとも、加工する前記レンズがマイナスレンズである場合には、

前記幾何中心の位置が前記レンズの中心よりも左側に位置すれば、前記輪郭上の前記切り離し点の位置を前記左側領域内に設定し、

前記幾何中心の位置が前記レンズの中心よりも右側に位置すれば、前記輪郭上の前記切り離し点の位置を前記右側領域内に設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 5】

レンズを切断する切断加工具と、

前記切断加工具と前記レンズの相対的な位置を移動させる移動機構と、

装置の制御を司る制御部と、

を備え、

前記レンズに形成する加工形状の輪郭に沿って前記切断加工具を相対的に移動させることで、前記レンズを切り離すことが可能な眼鏡レンズ加工装置であって、

前記制御部は、

少なくとも、加工する前記レンズがマイナスレンズである場合に、

前記レンズを切り離す前記輪郭上の切り離し点の位置を、前記レンズの厚みの分布に関する情報に基づいて設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 6】

レンズに形成する加工形状の輪郭に沿って切断加工具を相対的に移動させることで前記レンズを切り離すことが可能な眼鏡レンズ加工装置によって実行される加工制御プログラムであって、

前記眼鏡レンズ加工装置のプロセッサによって実行されることで、

前記レンズを切り離す前記輪郭上の切り離し点の位置を、前記加工形状に関する情報に基づいて、前記レンズの中心を通り上下方向に延びる仮想線を境界とする左側領域内および右側領域内のいずれかに設定する切り離し点設定ステップ

を前記眼鏡レンズ加工装置に実行させることを特徴とする加工制御プログラム。

【請求項 7】

レンズに形成する加工形状の輪郭に沿って切断加工具を相対的に移動させることで前記レンズを切り離すことが可能な眼鏡レンズ加工装置によって実行される加工制御プログラムであって、

前記眼鏡レンズ加工装置のプロセッサによって実行されることで、

少なくとも、加工する前記レンズがマイナスレンズである場合に、前記レンズを切り離す前記輪郭上の切り離し点の位置を、前記レンズの厚みの分布に関する情報に基づいて設定する切り離し点設定ステップ

を前記眼鏡レンズ加工装置に実行させることを特徴とする加工制御プログラム。